



しこく



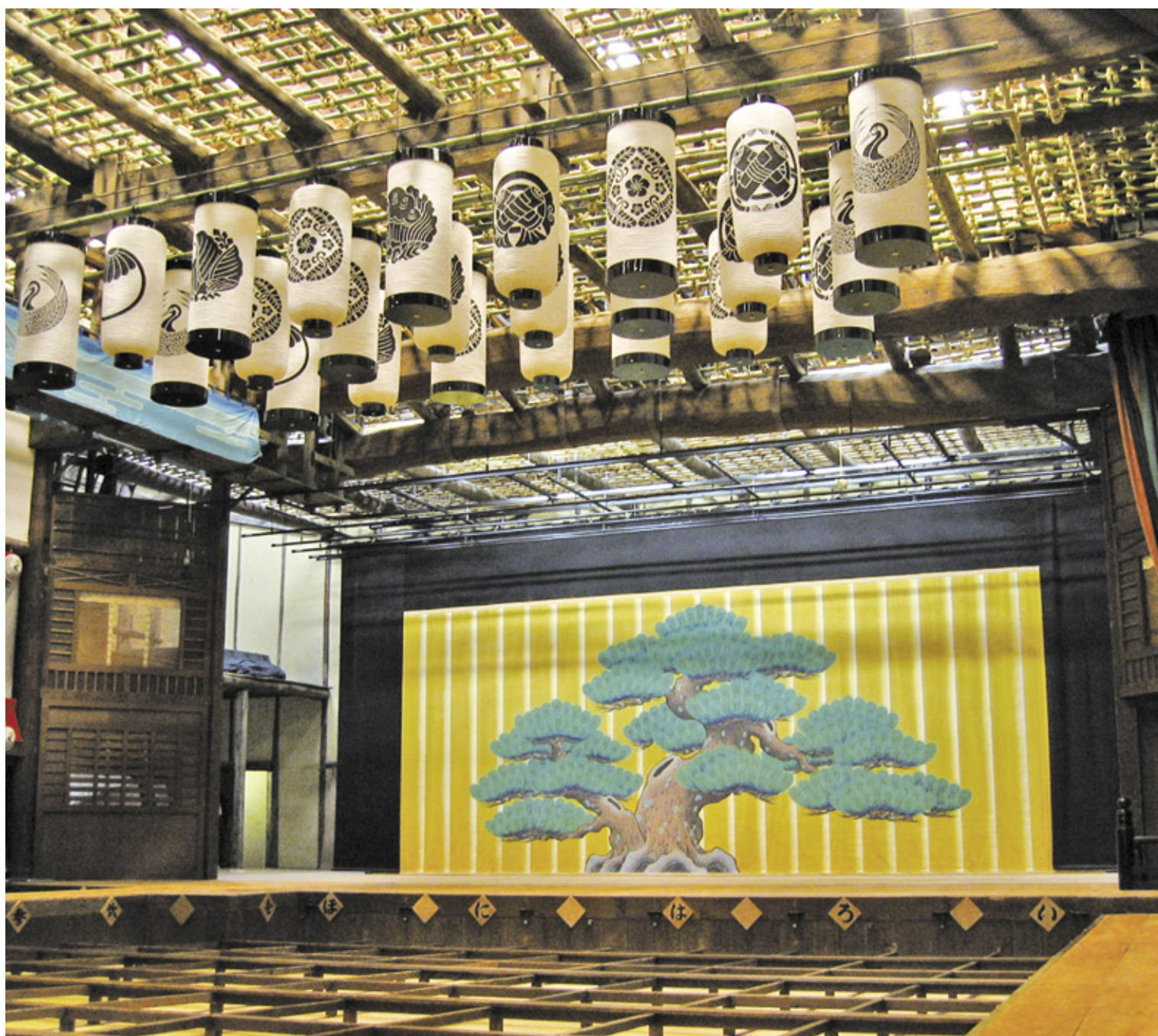
We Serve

District 336-A of Lions Clubs International Association

4・5・6

No.4

2015.第90号
平成27年6月20日発行





この一年に感謝

地区ガバナー

木内 千春

初夏の候、皆様方にも御健勝の事と拝しお喜び申し上げます。

カナダ トロント市に於いてガバナー職を拝命し胸にこみ上げてくるものがありました。全世界からのガバナーエレクト756名と非常に沢山のエレクトが集まりました。全ての人が配偶者同伴と云う事で指定ホテルは満員状態でした。最初の4日間はセミナーでした。ガバナーの資質を問うセミナーです。食事も指定された場所で缶詰め状態とはこのことだと思いました。その後は大会式典でリラックスした時間を過ごさせて頂きました。なれない外国でしたが妻が一緒と云う事で非常に助かりました。大会式典最終日にガバナーエレクトはガバナーになりました。

「新たな気持ちでウィサーブ」をスローガンにプライドに満ちた一年を送りたいと思いました。ライオンズクラブの原点は奉仕です。その中でも私達ガバナーに課せられた任務はクラブの発展。地域に根ざしたアクティビティです。クラブという小さな単位。その中での奉仕。そこにあるものはヴィジョンを共有する事であります。クラブの和。

誇りを高める

Strengthen the PRIDE





Contents

表紙2 ガバナー指針

- 1 ガバナー指針・Contents
- 2 ガバナーエレクトあいさつ
- 4 年次大会委員長御礼のことば
- 6 日韓親善国際交流のタペ
- 8 リジョンチェアパーソン
この一年を振り返って
- 13 委員会報告
GMT・GLT・会則・プロトコール委員会
- 14 委員会報告
PR・ライオンズ情報・大会参加委員会
- 15 委員会報告
青少年・LCIF・地域奉仕委員会
- 15 委員会報告
環境保全・保健福祉・アラート委員会
- 16 委員会報告
YCE・国際関係委員会
- 16 委員会報告
ライオンズクエスト特別委員会
- 17 委員会報告
ライオンズレオ特別委員会
- 17 委員会報告
IT特別委員会
- 18 北島レオクラブ結成
- 20 各クラブアクティビティ
- 30 阿波藍の紹介
- 31 旧金比羅大芝居「通称 金丸座」の解説
- 32 地区会員現況

表紙3 物故者の報告・編集後記

裏表紙 次期高知キャビネット「年次大会ご案内」

○表紙 旧金比羅大芝居 通称「金丸座」



クラブの健全な運営、その為には共に考え共に行動するそれにより地域の発展につながる奉仕。まさしく運命を共にする同志であります。一人が一人を招く。私はこの言葉が好きになりました。全員が倍增する事です。やってみました。むづかしい事でした。そのむづかしい事を私は皆様方をお願いしました。笑顔で向き合う事の楽しさ。そして笑顔の中から難しい事をお願いするつらさ。身に沁みました。この経験は私の人生を変えたいと思います。勉強させて頂きました。

いかに長い旅でも必ず朝がやって来ます。100年を間近に迎えるライオンズです。記念行事として一億人への奉仕、青少年、環境、食糧、視力この目標が私達の当面の目差すものです。良い世界、良い社会を創り地球上の全ての人々に幸せな生活と平和な生活が続くことを祈り私のお礼の言葉とさせて頂きます。

新たな気持ちで We Serve

「熱き思い」

336-A地区

地区ガバナーエレクト

橋本 充好



1 「感謝の心」を持つ

ライオンと呼ばれる人の一節に事業を成功に導き…という書き出しがあります。事業がうまくいっているということは、会員の努力によって成し遂げる要素も強いわけですが、私が考えるとその素質を持っていたのではないだろうかと思えるわけです。すなわち、父母からの遺伝や教育によるところも多いと考えられるのです。そうであれば、自分自身の存在に感謝し生かされていると考えることで、自ずと感謝の気持ちが湧き奉仕活動ができるのではないのでしょうか。ライオンズクラブは地域に根ざしています。どうか与えられた能力に感謝し、効果のある事業を企画・継続してください。また参加してください。

2 「感動」する事業をしよう

各クラブは独自性を生かした奉仕事業を企画して、実行し、継続していることと思いますが、ややもするとマンネリ化して、会員の参加率も悪く、被奉仕者も少なく、分かち合う感動も少ない状況が見受けられるケースがあります。是非とも新会長やクラブ会員は会員や参加者の感動の大きさ（費用対効果、喜びの大きさ、感動の深さ）を考えて、再度事業を構築していただきたい。そして、1年間クラブの会長として存分にリーダーシップを発揮し、クラブの活性化に繋げていってください。





3 「感激」を分かち合おう

人生の楽しさは、どれだけ感動を与え、与えられたかが大きな要素になると考えます。奉仕活動を通じ仲間、家族、そして地域の方々と感激の涙を流しましょう。

4 「魂」を入れよう

魂を入れたクラブ運営、そこにはキラツと光るエネルギーが生まれ、心が通じ、協力者が増えるのではないのでしょうか。また、魂を入れた奉仕活動は充実感が芽生えるのではないのでしょうか。このことは事業活動に通ずるものがあると確信しています。

是非、魂を入れた奉仕活動を展開してください。



第61回地区年次大会



大会委員長

林 昭博

ナーの「徳島キャビネットの仕上げ行事として、参加ライオンズが全ての面で満足して帰っていただける大会を」とのご指示を大切に、8 R・9 Rの30ホストクラブ全てで役割を分担し、綿密な準備・企画、運営に、鋭意力を注ぎ「おもてなしの心と、阿波の国・徳島らしさ」を精一杯表現する努力をして頂いたと自負いたしております。

この大会を通じて、ホストクラブ会員相互の連携と、地区内クラブ会員間の友情が高揚し、更なるライオンズクラブの素晴らしい絆が生まれる大会に多少なりとも貢献できたかと祈念いたしております。関係者の皆様方本当にご苦勞様でした。厚く御礼申し上げ挨拶と致します。

ライオンズクラブ336-A地区第61回地区年次大会は、さわやかな陽春の日差しのもと4月11日（土）、12日（日）の両日「阿波の徳島来て・見て・食べてみんなで浮かれてみまへんか」の大会スローガンのもと、地区内各クラブより1930余名の会員の皆様方にご参集賜るとともに、姉妹提携地区韓国354-D地区からは46余人の役員の参加を得て華を添えていただき、水の都徳島市において厳粛にして、意義ある大会として成

功裏に終えることができましたことは大変嬉しく、ひとえに地区内4県のライオンズクラブ会員皆様方のご支援の賜ものと厚く感謝申し上げます。

さいわい、前日までの怪しい雲行きが続いていたにも関わらず、両日とも雲一つない快晴に恵まれ、春の日差しが参加皆様を暖かく包み「ウイサーブの熱い想い」をなお一層育む大会開催に向けられたものと感激いたしました。

また1年前から、木内千春ガバ

2015年4月11日(土)

記念ゴルフ大会

- ①サンピアゴルフクラブ
- ②徳島カントリー倶楽部 月の宮コース
- ③眉山カントリークラブ

日韓親善国際交流のタベ

336-A地区
354-D地区

徳島グランヴィリオホテル

2015年4月12日(日)

指名選挙・代議員分科会・代議員総会

アスティとくしま

大会式典

アスティとくしま 1Fアリーナ

ガバナー晩餐会

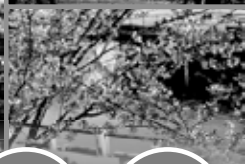
アスティとくしま 1Fアリーナ



ライオンズクラブ国際協会336-A

第61回

地区年次大会 徳島大会



阿波の徳島

来_マ見_マ食_マべ_マ

みんなで浮かれてみまへんか



日韓親善国際交流のタベ



地区キャビネット幹事

岩佐 典秀

此度、336-A地区第61回地区年次大会に354-D地区の皆様をご招待申し上げたところ、オチヨンジン呉正鎮総裁ご夫妻をはじめ39名が来日されました。

木内ガバナーは「ソウルの都会より徳島の田舎へようこそお越し下さいました。」と歓迎の挨拶をされました。ご一行は4月10日夕方に着され、11日は鳴門方面への観光に出かけられ、「渦の道」と「大塚美術館」を見学され、藍住町の「ゆめタウン徳島」に赴かれ

ました。そして、武久一郎先生の奥様に出迎えられて姜倫永次期総裁と朴基奉前総裁夫妻をかつての朋友である先生のご霊前にお参りをされました。夕方6時30分よりは、「日韓親善国際交流のタベ」に臨まれ、250名にのぼる多数のご参加のもと大変賑やかに且つ有意義のうちに盛大に執り行われました。12日午前は徳島市内を流れる川のクルージングを楽しまれ遊覧されました。そして年次大会では飯泉嘉門徳島県知事より「3

54-D地区の皆様、ようこそ徳島へおいで下さいました。県民挙げて心よりご歓迎申し上げます。」と挨拶されました。354-D地区の皆様はガバナー晩餐会にもご出席し、「祝舞」を鑑賞され阿波踊りを楽しまれました。翌13日午前8時宿舎のグランヴィリオホテルに木内千春ガバナー夫妻、橋本充好ガバナーエレクト夫妻、三谷智省名誉顧問、岩佐典秀キャビネット幹事、東條昭二事務局

長、山本久美子YCE国際関係委員長、下飯野芳幸次期キャビネット幹事、溝渕康夫次期キャビネット会計、和田信介次期キャビネット副幹事、浜田展吉次期キャビネット副幹事等に見送られて関西空港へと出発されました。

今回の訪問を通じて出来た一層の友好・友情の深まりを大切にしたいと思っています。354-D地区の年次大会での再会を楽しみにして参りたいと存じます。





336-A地区 リジョン・チェアパーソン この一年を 振り返って

「言うは易し行うは難し」



1RRC

高岡 英治

(松山湯築)

一年間を振り返って視るに、光陰矢の如しの感である。今期、木内千春地区ガバナーの方針に基づき、1Rー役員・委員皆様のご協力により、役職を全うすることが出来ました。そして、新たに多くの友人を得た事に感謝申し上げます。

今までの活動報告書を見ると、何と多くの行事があり、RCとして準備、手順、設定、作成等、心身ともに試練の連続でした。しかしながら、成るようになるもので、各クラブ例会訪問、クラブ理事会、合同例会、周年記念では、温かく迎えて頂き楽しい素晴らしい思い出として記憶に残っています。

特に今期は、ガバナー公式訪問、新会員オリエンテーション、リーダーシップ研究会を充実いたしました。いかにして会員を増強し指導するか、ライオンズ・スキルの高い会員を養成し将来を託すかが、RCに与えられた責務と思います。

折しも、木内ガバナーから、公認ガイディングライオン研修会に出席要請があり、333-C地区の吉原講師、井上336複合地区GLTコーディネーター他の方々とのダブルを囲み、これからのライオンズクラブをけん引する重要な目的・役目を学びました。さらに、クラブリーダー養成スクールにも出席し、団英男GLTエリア・リーダーの講師により、笑あり、ユーモアありの楽しい進行で受講いたしました。木内ガバナー並びに徳島キャビネットの皆様に感謝申し上げます。

これらの研修から、自分自身への課題は、褒めること、他者に助言を求めること、相手に関して寛容であること、プライバシーを尊重すること、チャンスを与えること、人間味あふれる態度、時には厳しい助言を与えること、相手を尊重することが自然に行えるよう努力いたします。

1Rのゾーン・チェアパーソン、地区委員、19クラブの会員の皆様、一年間ご協力有難う御座いました。



当たり前のことを当たり前



2R-RC

中村 倫浩

(今治くるしま)

今期始めに、木内千春地区ガバナーのスローガン「新たな気持ちで」We Serve キーワード「ヴィジョン共有」の理念実現を目指すために、入会時に誓った会員の三大義務「例会出席」「会費の納入」「奉仕」を今一度思い起こし、「新たな気持ちで」活気ある社会奉仕活動にクラブ全体で取り組んでいただきたいとお願いをいたしました。一年を振り返りますとゾーンチェアパーソン、地区委員、17クラブ会長始め、会員の方々のご理解と多大なご協力をいただき、336-A地区中で2Rは、例会出席率、メークアップ率はともに非常に高く、奉仕活動においても、各クラブが実に活発に取り組み地域の方々と連帯を深める活動となりました。

前期からの家族会員増強については、2Rでは修正が難しく各クラブに選択方法はお任せしました。正会員の増強は、今日の社会状況の厳しい中ですが、各クラブとも会員増強活動に努力され成果を上げてくださいました。その中でも西条石鎚ライオンズクラブは25周年記念事業として、地域の次世代青少年育成をめざし愛媛県下で最初のレオクラブを結成されました。我々に今後のライオンズの進む一つの方向を示してくれた気が致します。(素晴らしい式典でした)

4年後には2R-4Zに第二副地区ガバナー選出の予定です。その時は17クラブが支え合っていないかなくてはなりません。会員の輪を広げるためにも合同アクティビティが必要不可欠な事だと思ひ、ゾーンチェアパーソン、地区委員、各クラブ会長、会員のご理解とご協力を得て、2017年第17回全国障害者スポーツ大会「笑顔つなぐえひめ大会」(平成29年10月28日(土)〜30日(月))の競技用具購入費、競技会場使用バリアフリー施設費用の支援事業を三年間(2015年、2016年、2017年)継続して行うこととなりました。1年目の今年は、619名の会員の方々から619,000円の支援金をいただきました。この成果は2R会員一同のご理解、ご協力の賜物です。来年、再来年とさらに心を繋いで会員の輪を広げていただきたいと思います。1年間職責を果たせることが出来たのはひとえに皆様の支えがあつてのことです。感謝とお礼を申し上げます。

今期を振り返って



3R-RC

大氣 新平

(宇和)

まず、最初にLC馬鹿を自負して、若さと情熱だけが取り柄だったことを痛感した1年だったと感じています。

次期RCの推薦をいただいた2014年2月には、事前に3R15クラブの例会訪問を行い、同年4月7日には諸先輩をはじめ今期の3Rの地区役員・委員に集まっていたいて勉強会を開き、「15クラブの更なる活性化」と「ライオンズムの浸透と高揚」を推進すべく意見交換を行って、同年7月に木内丸を支えるために希望を内に秘め出航いたしました。初めてのことも多々あり未熟さを露呈して1年があたふたと過ぎ去っていったような気がしてなりません。が、「終わりよければすべてよし」の言葉を信じて、最後は、次期RCに納得していただける形で引継ぎが行えるよう精進してまいりたいと考えています。

この1年間、ひとえにRCという大役を務めてこられたのも3R15クラブの会員の皆様方のご協力、そして所属クラブの応援と熱意があつてのことと心から感謝申し上げます。また、木内地区ガバナーをはじめとしてキャビネット役員の皆様の温かいご指導・鞭撻に多くの知恵と助けをいただきました。特に、3R地区役員委員の皆様方には、ご経験を基に、新たな形で活躍いただき多大なるご協力と応援をいただき感謝の二言に尽きます。そして、私にとつて多くの出会いを得て、人生において素晴らしい1年であつたと自負しています。

さて、活動に関してですが、木内地区ガバナーの基本運営方針をもとに3R内での各種研修会では「ライオンズムの浸透と高揚」及び「10年後のライオンズクラブは？」の2大テーマで同じ話をしてまいりました。新会員オリエンテーションでは各クラブの若手会員の皆様、リーダーシップ研修会や各種委員会では中堅会員の皆様、リジョン合同諮問委員会やリジョン合同交流会ではベテラン会員の皆様に同じ形で話をしてきたことで、各クラブにおいて世代間での解釈の違いはあれども、同じテーマでビジョン共有ができたことと信じております。2014年2月に行つた例会訪問では、卓話を交えて例会後には各会員の皆様とライオンズ談議に花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。誇りを高め、新たな気持ちで3R15クラブは地域に根差したクラブ独自の手法で前向きに活動されつつあり、3Rライオンズクラブの5年後、10年後は明るい確信している次第です。

最後に3R3ZC故程内し、そして物故会員皆様のご冥福をお祈りし、益々の「ライオンズムの浸透と高揚」に励むことを誓って報告とさせていただきます。

ライオンズクラブはこのままで良いのか？



4 R I R C

内原 巧

(三木さぬき)

リジョン・チェアパーソンを拝命してから早や一年が経ちます。徳島キャビネット
でRC研修から始まり4 R内22クラブを例会訪問し各種会議に出席をして大変忙しい
ことは身をもって体験いたしました。

そうした中で特に考えさせられるのは、どのクラブとも会員が減少し運営費が不
足しどうにもならないとのこと、このままでは「うちのクラブは2、3年もしたら財
政破たんをして潰れてしまうかも知れない」と言うクラブが大半を占めていること
です。そうして奉仕活動は二の次にしてこの1年間はクラブの財政の立て直しに力を入
れなければクラブが消滅してしまうと言うクラブも有ります。

当然クラブが有つての奉仕活動ですからそう考えてもおかしありません。そう
なると4 Rで開催する各種研修会などには出席してもらえませんか。各クラブは出来る
だけ出費を抑えて行かねば行き詰まるのは当然のことです。本当にこのままでよいの
でしょうか。

昨年は松前ガバナーがRCを廃止しました。私は新しい試みで良いことだと賛成を
しておりましたが、その分Z Cの仕事が増え大変ご苦労をしたと聞いております。R
Cを無くすればその分リジョンの行事も合わせて無くさないとRCだけ無くしたので
は当然そうなると思います。

私が思うには、RCを再度無くしてリジョンで行っている各種の研修会も無くする
ことです。例えば新会員オリエンテーションを年二回も実施することを止めてクラブ
内で行う事も出来ますしリーダーシップ研修会も同じです。ゾーン会議を年に四回も行
っているのと同じようにリジョン会議を四回もする必要はまったくないと思います
し、ガバナー公式訪問も武久一郎元地区ガバナーがやっていたようにゾーン単位で行
い祝宴を取りやめるなどすれば各クラブの出費を抑えられると思います。

その他いろいろなことが考えられますが、とにかく336 I A地区でガバナーを中
心に名誉顧問会議の先輩達にもリジョンの分割など合わせて、本腰を入れて考え直し
てもらいたいと思っておりますが、そう考えるのは私だけででしょうか。

RC活動を振り返って



5 R I R C

宇賀 寛

(観音寺)

早いもので5 R Cをお受けしてから、もう10ヶ月を終えようとしておりますが初め
は70歳を超えているのでこれ以上氣を使ったりするのを勘弁してほしくて辞退をしま
したが、クラブの皆さんより強く推されてしまい35年のライオンズクラブ活動を通じ
て色んな事を人として経営者として勉強させて頂きましたので、お受けすることでお
返しになるのかとも感じて決心させて頂きました。

これまで5月末に行われた5 R準備リジョン会議、次期クラブLT・TT計画委員
長スクールから始まり7月20日第1回地区キャビネット会議が徳島にて開催されまし
た。それからリジョン会議、薬物乱用防止パレード、5 R 1 Z・2 Zのゾーン会議
と13クラブの例会訪問と立て続いているの動きに無我夢中でした。

8月30日は本内千春ガバナーはじめ橋本第1副地区ガバナー、真鍋第2副地区ガバ
ナーとキャビネット役員の皆様と5 Rより山地章靖地区名誉顧問・336複合協議会
議長と共に地区役員、地区委員の皆様をお迎えして「地区ガバナー公式訪問会議」を観
音寺グランドホテルにて各クラブの会長、幹事、会計、第1副会長、会員委員長と共に
総勢80名にて開催され無事終了いたしました。

こんぴらLC 35周年、坂出LC 55周年、献血研究会、新会員オリエンテーション、
4 R 5 R薬物乱用防止セミナー、アワード選考会、リーダーシップ研究会、等々を参
加してまいりました。

4月12日午前中には代議員総会が行なわれ決議委員会副委員長として閉会宣言を行
い、午後は「336 I A地区年次大会」がアステイとくしまにて開催され2千名近いラ
イオンの参加のもと盛大かつ厳粛に行われ、私のライオンズ人生の記憶の残る大きな
1ページを飾る日となりました。

RCとしての残りの日々を後悔の無いように努力する所存ですので、皆様のご指導
ご協力を宜しくお願い致します。



地域のために何ができるかを主眼とした方針



6 R I R C

吉名 征郎

(土佐清水)

この一年、ライオンズ活動に明け暮れた年でありました。また時の経つ速さを感じさせられた年でありました。
年度当初は何かと不安を感じての出発でありましたが、ガバナーとの連携、また ZC・各委員の皆様のご協力をいただき楽しく務めることができました。関係者の皆様、また各クラブの皆さんに感謝しております。
振り返ってみると、主宰する会議の多さの中でクラブの事務員さんには大変多忙をさせました。

また各クラブへの訪問・各種会議を持つ中で、多くの人々との出会いがありました。それぞれに良い思い出を作ることができました。多かつた周年事業もそれぞれに記憶に残る事業になりました。一年間楽しく過ごすことができたのも皆様のご協力あつてのことと感謝しております。また何といたってもガバナーの方針である、各クラブが地域のために何ができるかを主眼とした方針を貫いたのだと思っています。会員増強はクラブの永遠の課題ではありますが、会員の皆さんの納得のいく方策をとることが重要であることを改めて感じた年でもありません。

ライオンズの役員として一年間大変多忙ではありましたが、皆さんとふれあう中、楽しい思い出を作ることができ、充実した一年になりました。ありがとうございました。

何より老体に鞭打ちながらも事故なく過ごせたことに安堵しています。人生の思い出の一ページになりました。

最後に各クラブの会長始め会員の皆様、そして各クラブに従事する事務員さんに大変お世話になりました。改めて厚くお礼を申し上げ、私の感想といたします。

RC活動を振り返って



7 R I R C

酒井 公一

(高知りょうま)

2014年～2015年のRCを拝命し、あつと言う間の一年でした。RCとしての仕事全てが初めての経験であつたので戸惑いもありましたが、先輩諸氏の教えを頂きお蔭様で任期を全うすることが出来ました。又7RのZC、5委員の方には良く助けて頂き全ての会合が滞りなく運営出来ました事を心より感謝致しております。本当に有難う御座いました。

RCとしての仕事は木内ガバナーの基本活動方針を踏襲し、各クラブに対しZCと共に伝え実行することと有りました。「誇り高きライオンを目指し、各クラブの間で美しく気持ちの良いハーモニーを醸し出しましょう」この事が我々の努力で実を結べばガバナーの基本活動方針であるGMT会員増強以下の11項目は自然と達成されると考え努力を致しました。

私はガバナー基本活動方針に加え、何かRCとして7リジョンの会員の皆様に少しでも楽しく有意義なライオンズライフが送れます事を願い、7リジョン全ての同好会活動を推奨し次の二つの同好会活動を行いました。

一つ目は2014年9月11日と2015年3月16日に6R、7R合同のゴルフ大会を開催しました。会員外の方も含め25組100名のゴルフアークが集い懇親会でも大いに盛り上がりました。

二つ目は2015年2月16日6R、7R合同の第一回はし拳大会を催し、予想を大きく上回る80名のはし拳愛好家が集い初心者も含め大いに盛り上がり大盛況でした。高知県の伝統文化を守り広げるためにも大変意義深い催し物になりました。この二つの大会が定着し継続されることを願っています。残り任期も木内ガバナーを盛り立て来期高知キャビネットへの繋ぎと致します。キャビネット会議、ガバナー公式訪問、他各会議も緊張の連続でした。素晴らしい貴重な経験をさせて頂き他のリジョン役員の方々との交流も私の今後のライオンズ活動に貴重な肥やしとなる事だと思っています。徳島キャビネット内局役員の皆様、ご指導ご鞭撻誠に有難うございました。

この一年間の活動を総括



8 R R C

阿部 幸市

(徳島城山)

最初に、本年度は「徳島西ライオンズクラブ50周年」「石井ライオンズクラブ40周年」「北島ライオンズクラブ25周年」「徳島藍ライオンズクラブ20周年」の記念すべき節目にあたり、各クラブが周年行事を開催いたしました。長期にわたる活動の継続にあためて敬意を表したいと存じます。

以下、本年度の主な行事に触れさせていただきます。

まず、4月から5月にかけては、役員の方とゾーン内の会議を開催、6月には「89RC打合せ会議」を開催し、会員増強、オリエンテーション、地区緊急援助引当金、薬物乱用防止等について意見を交わしました。

7月から10月にかけては、「8R・RC・ZC・ゾーンレベル委員・地区委員・リジョン会議」「諮問委員会」を開催、また「ゾーンレベル委員会例会訪問」として15クラブを訪問させていただきました。

新年を迎えた1月には「8R合同例会」を徳島グランビリオホテルにて開催。加えて「9R合同例会」にも、木内ガバナー及び地区役員の方々とともにオブザーバー出席させていただきました。

特筆すべきは、「ライオンズクラブ国際協会3361A地区第61回年次大会」が徳島アステイで開催されたことです。四国全県149クラブから1930名の会員が集い、徳島県ライオンズクラブがホストの立場として他県からご参加の皆様をおもてなしました。

大会中の代議員総会では、徳島城山ライオンズクラブの川辺信郎氏が第2副地区ガバナーとして承認されました。四国全クラブのご賛同をいただき8R・RCとして大変うれしい思い出となりました。

本年は、私にとって8R・RCに任命された記念すべき年でした。就任当初は、任命を大変光栄に思う反面、大役に対する不安でいっぱいでしたが、3361A地区木内ガバナーのご指導や、キャビネット幹事、会計、事務局員並びにZC、地区委員及び会員の皆様のサポートのおかげで無事に遂行することができました。この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

最後になりましたが、各クラブの今後の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝ならびにご活躍を心からお祈り申し上げまして、本行事の報告のまとめとさせていただきます。

リジョンチェアパーソンの一年を顧みて



9 R R C

坂東 照伸

(阿波)

7月1日RCPを拝命いたしました。最初の取り組みは、ガバナーの公式訪問でありました。8月2日の徳島市阿波観光ホテルに、木内千春地区ガバナー初め7名のキャビネット役員をお迎えいたしました。3361A地区では最初のガバナー訪問であり、光栄に思いますとともに責任の重大さを痛感致しました。地区ガバナーから就任の喜びと一年の抱負を拝聴してご指導を戴きました。

第二の大きな取り組みと致しましては、9R全クラブの例会訪問がありました。ゾーンチェアパーソンと共に、全クラブを訪問させて頂きました。訪問時間は夕刻から夜にかけての時間帯が多く、夜を徹してクラブ運営や当面する課題等について話し合いを持ちました。この例会訪問を経てから各クラブとの親近感が一段と深まった感じでありました。例会訪問は、成果のある取り組みであり貴重な体験でありました。

各クラブの会長・幹事・会計をはじめ役員、すべての会員の皆様ご指導ご協力誠にありがとうございました。

任期も後半を迎えて最大の取り組みは「第61回地区年次大会」でありました。4月11日記念ゴルフ大会、日韓親善国際交流の夕べがありました。4月12日指名選挙会、代議員分科会、大会式典、ガバナー晩餐会と展開開催されました。代議員総会におきまして不肖私、資格審査委員長を拝命し資格審査を発表させて頂きました。年次大会のささやかな思い出であります。

年次大会も成功裏に終了し、一息ついた4月25日8R・9R合同防災研修会を開催致しました。「明日起こるかもしれない南海トラフ巨大地震」について研修を致しました。上期・下期2回にわたる新会員オリエンテーションも有意義でありました。2回の研修会に講師をお努め下さいました元地区ガバナー地区名誉顧問荒瀬孝之先生ご指導ありがとうございました。感謝申し上げます。

残された取り組みは、第4回キャビネット会議、第4回リジョン会議、石井LC40周年記念大会、そして9R全体会・引継ぎ会であり頑張ります。

この一年終始ご支援ご指導賜りました8RRC阿部幸市様に深甚なる感謝を申し上げます。



この一年の活動を振り返って

GMT・GLT・会則・プロトコール委員会

委員長 村木 弘次



くの正会員が生まれることを期待するしかありません。

当委員会の役目は会員数の動向に気を配るだけでなく、増強に成功したクラブの活動事例等を調べ、又国際本部から提供される増強に関する情報をネット上を通じて学び、各委員さんと知恵を出し合っ

て、増強に関する提案を詳細にまとめた資料を各クラブへ示すことが本来の活動



と考えると、十分にそれを実施出来なかったのは私の責任であり、勉強不足であったと痛感しております。

次に年次大会第一分科会において活動事例発表を行った高松空港LC、丸亀LC、宇和LCの三クラブは会長を中心に会員全員が会員増強への意識を共有し、将来の目標を定め、計画的に且つ積極的に新会員招請にあたってお

り、ここ数年着実に実績を挙げています。他クラブが今後増強を勧めて行く上で模範とすべき素晴らしいクラブでした。

3月に今年度のGLT活動の一環として当委員会が企画したクラブリーダー養成スクールは、団英男西日本GLTエリアリーダー、辰巳博昭3351A地区GLTコーディネーターの両氏を講師としてワークショップ形式で開催致しました。各リジョンからの参加者と共に十年後のライオンズと言うテーマで多くの意見を交換することが出来ました。

最近クラブ活性化の必要性を論ずる記事がライオン誌等でよく見かけますが、各クラブは夫々工夫した楽しい例会を企画し、出席率を上げて会員の親睦を図り、例会の雰囲気盛り上げようと努力を重ねています。又ライオンズの基本である奉仕においても地域に密着した活動に専念していることは、当委員会が行った2回の諮問事項回答の中でも充分認識することが出来ました。

当委員会の活動は余りにも多くて又幅広いものです。会員増強計画から始まり将来のリーダーの発掘と育成、クラブ向上プロセスの実施、クラブ内役員研修の企画等は活動のほんの一部に過ぎません。本格的に取り組めば課題が多過ぎて、知識は得るものの脳がバ

ニック状態になりそうです。直ぐに効果を期待できなくても各年度において当委員会が行うリーダー育成事業の積み重ねが、運営と奉仕の両面において各クラブを活性化させ、結果として将来夫々のクラブ向上へと繋がって行くのではないのでしょうか。

只欲を言えば年間の決められた活動だけでなく新たな計画を進めて行くうえで、参加者の負担等を考えると登録料だけでは賄えず、別に委員会としての活動費が必要となります。キャベネット会議の資料だけでは詳細が掴みにくく、当初から委員会毎の予算の有無をはっきり提示させることで、計画の可否が決まり、一委員会としての活動意欲も増し充実した委員会活動が展開できると感じました。

終わりに、不安とストレスを感じながらの委員会活動でしたが、地区ガバナーを始め各役員、地区委員、又当委員会事業に於けるホストクラブの皆様のご協力のお陰で、徳島キャベネットの一員として無事に役を終えることの喜びと感謝の気持ちがかかります。年間大変お世話になりました。



「第61回地区年次大会を終えて！」

PR・ライオンズ情報・大会参加委員会

委員長 賀川 直



かねてより準備をして参りました第61回地区年次大会は2千名を余る参加者を迎え、無事に終えることが出来ました。336-A地区の皆様には心よりお礼申し上げます。

さて、当委員会の一年間の任期も早くも終盤にさしかかりました。各地区委員様のご協力のもと3回の委員会議では、活発な意見とアイデア等を頂き楽しくスムーズに開催することが出来ました。

先般の年次大会「第一分科会」に於きましては、坂出シニアライオンズクラブ・塩崎会長様より「アクティビティ

活動と広報について」と題し、クラブのPRと活動の内容・マスコミ報道についても詳しく内容を発表して頂きました。

昨今、各クラブとも奉仕活動の活動範囲も拡大されアワードの申請にもたくさん事例が反映されていきました。現在はホームページはもとより、こちらから発信するSNS(ソーシャルネットワークサービス)の普及で各地域間、そして人と人との交流が縦・横に繋がります、ますます活発になることと期待を寄せているところです。今後、クラブ内そしてクラブ外との交流も深めライオンズクラブの奥深さと意義を高めて参りましょう。

今期も引き続き運動中の「国旗掲揚」ですが、まだまだクラブ間におきましては温度差がありますが国旗の掲揚を意識し100%掲揚のクラブもありました。

又、アワード申請も多々出てきております。この「国旗掲揚運動」が各クラ

ブ内の士気の高揚にも繋がり色々な話題を提供して頂けました。地域を明るく元気にする国旗の掲揚運動です。今後ますます定着することを願ってやみません。

最後に、当委員会で委員長をさせて頂き、委員の皆様方と楽しく活動出来ましたことを厚くお礼申し上げます。



We Serve

**我々は、提案する。
我々は、行動する。
我々は、推進する。**





LCIF 献金における地域社会への貢献

青少年・LCIF・地域奉仕委員会

委員長 田口 一男



地区委員長という大役を仰せつかって早や一年がたとうとしています。

青少年育成・LCIF 献金・平和ポスターコンテストと一年間通じての事業でした。

それぞれのクラブにおいては、クラブ組織・歴史・規模など異なりがある中、大変ご協力と努力されたことに感謝をしているところであります。



今なお世

界中が内紛・内戦・そして脅威となつて



いるテロ問題、又巨大化・激化している自然災害・地域社会における格差の問題等、多くの人達が苦しみ・悲しみ・耐えている状況であります。

LCIF 献金における地域社会への貢献、そして地域社会における全ての子供たちが参加する国際平和ポスターであります。

このようにこの委員会は最も重要かつ大切であります。

今後共青少年・LCIF・地域奉仕委員会にご協力お願い申し上げますと共にご活躍されることをご期待しております。

委員会活動を通して

環境保全・保健福祉・アラート委員会

委員長 手塚 任



当委員会の活動は、多種多様な公認奉仕プログラムの実践が求められ、かつ、多くのメニューに取り組まなければならないだけに、キャビネットを始め、RCP、ZCP、地区委員の皆さんには、ご無理なお願いでご迷惑をおかけしたこと、また、色々お世話になり、ご指導・ご高配を頂き、財産の獲得を得ましたことは、当委員会に所属し誠に幸せな一年であつたと存じます。

委員会理念として「環境保全温暖化現象対応を掲げ、「保健福祉」と「アラート」との調和に取組み、責任、尊厳及び奉仕に努めることを最大の課題として参りました。

※今年一年の重点活動概要

●献血推進への活動

(1) 7月血液推進ブロック研修・意見交換会(広島市)

●薬物乱用防止教育

(1) 薬物乱用防止養育認定養成講座開催(高知県立大学・各県ホテル)

(2) 薬物乱用防止キャンペーン・パレード開催(各単位クラブ実施)

(3) 薬物乱用防止教育(小学校高学年・中学生対象にLC講師)

●環境保全と防災への取組

(1) CO2削減計画、資源再利用・環境保全フォトコンテスト応募活動

(2) 防災・減災、救援・救護活動、関係機関連携、支援物資調達

植樹、植林、献眼協力、献腎、骨髄提供、防災グッズ、備蓄食糧の確保等の課題には今後とも、より取り組んでいく必要を痛切に感じたところです。

少子高齢化社会に向けて、本委員会の責務として地球環境を保護し、かけがえのない全ての生命を守り続けたいものです。

ホストファミリーの皆様へ感謝

YCE・国際関係委員会

委員長 山本久美子



くが観光に行っています。

企業はグローバル化が進み、教育界では英語教育のスタートが低年齢化するという中、留学生の数は激減しているという現状があります。

ライオンズクラブが国際的なネットワークで結ばれている以上、このYCEプログラムは各クラブの中で、もう少しアクティビティの柱として取り組んで頂きますようお願い致します。

最後になりましたが、一年間派遣、受入クラブの募集やフォロー、オリエンテーション

や報告会への出席等、本当にご尽力頂き共に

委員会を盛り上げて頂いた9名の地区委員の皆様へ敬意を表したいと思います。



当にお世話になりました。特に派遣、受入に御協力を頂きました各クラブ、ホストファミリーの皆様には重ねて感謝申し上げます。

昨年、日本を訪ずれる外国人の数は過去最高を記録し、日本からも多



委員会活動の重要性について

ライオンズクエスト特別委員会

委員長 春木扶佐子



「風がいつ来るかを予測することはできない。でも、いつでも出航できるように、帆をあげておくことはできる」ライオンズクエストプログラムの中で「今日の言葉」として使われています。「帆」にあたるものや今学んでいる「スキル」は生きていくうえでどのように役立つと思うか、大人の私たちへの問いかけでもあります。

今期、地区ではワークショップ（WS）4回、実践校への支援としてフォローアップWS1回、プログラムを理解いただくための体験会を2回、開催することができました。関係者の皆さまには心よりお礼を申し上げます。1つのWSを開催するには最低16人の参加者が必要です。主催クラブはもとより周辺クラブからの参加者の紹介、参加費支援が大きな力となり、WSを開催することができ

す。先日、あるクラブの役員の方が近くの学校の教頭先生他何人かを参加支援した。「大変よかった。学校で取り入れた」と絶賛してくれたから今後、参加支援の費用を継続的にクラブの予算に計上する。このようなお言葉をいただきました。本当にうれしいことです。WS開催も大きな事業ですが、周辺クラブからのこのような温かい力が事業継続につながります。これからは単一クラブだけでなくリジョン単位やゾーン単位、クラブ合同での取り組みも検討していただきたいと思っています。又、特別委員の皆さまには、ライオンズ会員や学校、教育関係者への啓蒙活動にご尽力いただきましてありがとうございます。委員長の私の力不足でまだまだ浸透していないのが現状ですが、諸先輩方の人知れぬ苦労と努力で育んでこられたライオンズクエスト事業、皆さまの理解が益々、深まり、たくさんの子どもたちにプログラムが届くことを願っております。

最後に、この一年、たくさんのお会いがあり、温かい友情に支えられ、たくさんのお話を学ぶことができました。

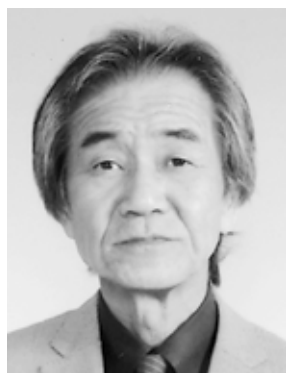
皆さまの温かいご支援、ご協力に對しまして心から御礼を申し上げます。



ライオンズレオ結成について

ライオンズレオ特別委員会

委員長 市村 通夫



て御礼申し上げます。

本年、木内ガバナーは各県にひとつ以上のレオクラブを立ち上げたいとの意向でした。しばらくして韓国3541D地区との交流交換学生の会があり、レオメンバー達が徳島を訪れる機会がありました。

ライオンズレオ特別委員長を拝命しまして、3年任期の最後の年となりました。

思いおせば長谷川ガバナーの時9RCが終わってホットしていた処、急にご指名がかなり何もわからずお引き受けしが大変でした。

アジア会議でシンガポールに行き、そこで国際本部の方にレオクラブのことをいろいろと勉強させて頂きました。続いて松前ガバナーの時、西条石鎚LCからお声がかかり、理事会でレオの事を説明させて頂き、今日の立上げにつながりました。首藤様はじめ関係各位の皆様には、お世話になり改め

徳島地区内の行事がいろいろとあり、鳴門ライオンズクラブの阿波踊り例会に参加しました。その節に北島LC会長とレオメンバーとの交流があり興味を持って頂き今回の北島レオクラブの立上げにつながりました。説明会・勉強会チャーターナイト等ありあつという間に設立することができました。

一宮会長、江富様はじめ関係各位の皆様にお世話になり感謝申し上げます。お陰様で任務を果たすことが出来ました。改めてライオンズクラブの友情を感じております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

「感謝を込めてウィサーブ」

一年間のご協力に感謝

IT特別委員会

委員長 板東 理人



省しています。

ホームページの活用状況についても、頻繁に更新し組織や活動の紹介、またアクティビティの案内や報告に活用されているクラブとまだ開設されていないクラブとの差が大きいように思います。特に経費と更新の作業が必要なホームページは、開設と活用をお願いをしても今後も活用されるのは難しいのではないかと感じました。

IT特別委員長を拝命させていただきながら、当初に計画していたアンケートなども実施できず、申し訳なく感じております。徳島キャビネット皆さまや事務局のおかげで、なんとか1年を迎えることになり、感謝いたしております。

各クラブにおいては、紙媒体から電子化やオンライン化に移行して経費削減に取り組んでいるクラブも多くなり、クラブのIT化は進んでいるようにも思われます。しかしながら地域性や会員数のことで、うまく効率化ができていないクラブもあるようです。もっとクラブ間での情報を共有できれば良かったと反

一方、「SNS」といわれる、ツイッター、フェイスブック、ラインなどを活用し広報活動を行っているクラブも多くなりました。「SNS」のどれもが大きな費用も必要なく、スマホかタブレットがあれば気軽に投稿、更新ができるのでこれからは活用されるクラブが増えていくのではないかと思います。特にフェイスブックを活用されているクラブが多く、今年のアワードの選考にも対象とさせて頂きました。

皆さまにお世話になり感謝しております。ありがとうございました。



北島レオクラブ結成

私は本年度、徳島キャビネットの副幹事としてキャビネット内局会に参加するようになりました。ここで家族会員のことがいろいろと議論されていきました。以前から時限立法のような家族会員に腑に落ちないものがありました。そんなときにレオの特別委員長の市村通夫氏と話すことがあり、家族会員よりこれからになう若い人の集うレオクラブについて熱く語られたのに触発され、わが北島ライオンズクラブで二十五周年の記念事業としてレオクラブを立ち上げてはどうかと思うようになりました。幸い一宮会長が乗り気では是非やりましょう、と快諾を得てちょうど鳴門ライオンズクラブの阿波踊り例会で市村氏に北島ライオンズクラブの一宮会長・大塚幹事を紹介して、ことが前に進み出しました。



北島レオクラブ

顧問 江富 久雄



しかし、なかなか前例のないこと
でどのような手順でクラブを結成す
ればよいか暗中模索の状況がしば
らくつづいていました。年が明け北島
ライオンズの結成二十五周年の記
念式典が近づいてきました。二月
二十二日までになんとか形にしなけ
ればと北島ライオンズクラブの三役
が市村氏にお伺いをたて、国際本部
と連絡しながら二月五日やつの思
いでチャーターナイトを迎えるこ
とができました。

木内ガバナー、東條事務局長をは
じめキャビネットの皆さんのひと
たならぬお世話の賜物だと深く感謝
しています。当初は北島ライオンズク
ラブの子弟六名から始めましたが、ノ
ンライオンの若者から入会希望の申し
出を受けおおいに励みとなりました。

北島レオクラブの今後の活動です
が、北島ライオンズクラブの奉仕活
動に参加しながらレオクラブ独自の
奉仕活動を探し求めていけば良いと
思います。若い人たちは無限の可能
性を秘めています。親クラブは口を
出すことをできるだけ控え、若者の
自由闊達な活動を暖かく見守って行
きたいと思います。



7R1Z 各クラブ アクティビティ 紹介

「子どもの夢」事業
— 修学旅行を実施 —

7R1Z

高知鷹城ライオンズクラブ

結成55周年記念事業「子どもの夢事業」の一つ。小学校課程での修学旅行の機会を逸した、穴内小学校への転校児童と日頃から子ども達を支える地域の皆様方の夢を叶えるべく、冬の北海道へ5・6年生9名を修学旅行として招待しました。



第39回室戸ライオンズクラブ旗争奪
少年ソフトボール大会

7R1Z

室戸ライオンズクラブ

第39回室戸ライオンズクラブ旗争奪少年ソフトボール大会を、平成26年9月28日(日)室戸中央公園グラウンドで開催した。今年から2チームの参加、ゲームは延長8回吉良川御田スポーツがサヨナラ勝。



「地域花いっぱい
80300事業」について

7R1Z

高知鏡川ライオンズクラブ

この事業は、花の苗を登・下校の通り道に位置する地域の方に配布し、登校時と下校時に水やりや花の手入れを行っていただくと同時に子供たちに声かけを行なっていただく事業です。声かけをすることによって、地域の方と子供たちが触れ合うきっかけとなり、更には、防犯や非行防止にも役立っている」と評価をいただいています。



「筆山公園の草刈清掃活動」

7R1Z

高知南ライオンズクラブ

2月8日、9時から高知市筆山公園でクラブ員、地域の方々と草刈清掃活動をしました。この場所は我が高知南ライオンズが結成15周年記念行事として、桜の苗木45本を植樹した場所です。草刈後は桜に施肥しました。春の桜が満開に成る日を楽しみにこの活動を続けて行きたいと思っています。





留学生との交流事業

7 R I Z

高知よさこいライオンズクラブ

毎年恒例のYCE事業として、今年は「日本の文化に触れてもらう」と題し、着物の着付けや風呂敷の包み方、お茶の作法などを留学生に実際に体験してもらい、会員も手伝い、交流を深めた。実体験を通して、日本古来の文化に触れ、留学生にとっても貴重な体験となったようだ。



道の駅南国「風良里」周辺の定例清掃

7 R I Z

土佐国府ライオンズクラブ

我がクラブは今年10周年の若輩クラブですが、唯一のアクティビティは結成以来継続している高速南国IC近くの、道の駅南国「風良里」周辺の定例清掃を毎月第1日曜日の朝7時から行っている事です。



骨髓ドナー登録

7 R I Z

高知黒潮ライオンズクラブ

骨髓ドナー登録の推進を目的に登録会を開催。当初は高知黒潮単独であったが、その後土佐山田・高知桜LCに拡大。骨髓バンクの資料によると、ドナー登録への貢献度は全国のLCにあって高知県LCはトップに位置している。



高知少年少女合唱団への援助

7 R I Z

高知桂ライオンズクラブ

昭和43年、高知桂LC3周年を記念して結成された「ライオンズ少年合唱団」が前身。その後「高知少年少女合唱団」として再発足以来47年間、子供達、指導者と交流を続け合唱団が発展し素晴らしい人間形成の場となるよう支援しています。



「青少年育成」
ミニバスケットボール大会

7 R・2 Z

高知中央ライオンズクラブ

「青少年の健全育成」の為に今年で9回目を迎えたミニバスケットボール大会。

選手達は、日頃の練習成果を発揮する事と同時に、準備や後片づけまで親達と共に行う事を通じて、健全な心身の育成を目指している様だ。



土佐和紙の手すき体験

7 R・2 Z

高知りょうまライオンズクラブ

高知大学留学生10名会員13名とで土佐和紙手すき体験と懇親会を実施。この事業は土佐和紙の手漉きの技術を経験していただき自作の和紙とともに留学の思い出になればとの企画です。



「公園に清潔なトイレを」
土佐山田LC50周年記念事業

7 R・3 Z

土佐山田ライオンズクラブ

稀少植物バイカイカリソウをはじめ四季折々に咲く草花。豊かな自然が残る里山を地域住民の手で人々が集える公園へ。と共に植樹、歩道の整備を進めてきたのが香美市土佐山田町楠目地区「女夫ヶ池公園」。そこに念願のトイレ建設、その補助金を出させて頂いた。近くの保育園児、小学生の遊山する賑やかな声が楽しみだ。



「楽しい親子木工教室」
「少年サッカー大会」

7 R・3 Z

南国ライオンズクラブ

「楽しい親子木工教室」は、1997年から開催され、毎年開催されており、2015年で第18回を迎えます。これは、青少年の健全育成を柱として、子供の持つ創造性の育成と、共同製作を通じ、親子のふれあいの醸成を目的としております。

「少年サッカー大会」は、2010年から開催され、2015年で第5回を迎えます。これも青少年健全育成を目的としており、南国市サッカー協会の協力を得て、子供達にチャレンジ精神と夢を与える大切な事業です。





クラブ最大の奉仕事業 年末16文教施設への巡回餅つき

7 R-1 Z

土佐香南ライオンズクラブ

・もち米提供……120キロ(2俵)
・参加LC……延べ64名
・労力総計……128H
年末の餅つき奉仕は、他クラブも行っており珍しくないが12月中旬に16施設を巡るクラブは他にあるまい。
昭和60年に始まった継続奉仕事業は地元で大いに喜ばれ歓迎されている。

マレーシアからの YCE来日生受入

8 R-1 Z

徳島ライオンズクラブ

平成26年12月14日から27日の間、マレーシアからクリスタル・リー・ジン・イーリンさんをお迎えしました。ホストファミリー(上石川圭一)をはじめ、たくさんの人たちのご協力で国際交流の輪が広がりました。



近所の幼稚園にて

振り込め詐欺防止 キャンペーン事業

8 R-1 Z

小松島ライオンズクラブ

二十六年度、振り込め詐欺等被害が県下で五十件小松島警察署管内で1件発生しているようであります。
クラブではこれらの被害防止のため、小松島警察署と協力しながら、七年前から年金支給日に、銀行ATM・産直市等でキャンペーンを実施しています。今後も継続して取り組んでまいります。



交通安全運動キャンペーン

8 R-1 Z

阿南ライオンズクラブ

毎年、春と秋の全国交通安全運動期間中に交通安全キャンペーンを行っています。
阿南警察署員のご協力のもと、阿南市のゆるキャラ「あななん」も参加して、大型ショッピングセンターへ訪れる買い物客に対し、チラシ・記念品等を配布して啓発活動しています。



小学生フットサル大会

8 R I Z

徳島南ライオンズクラブ

第8回TOKUSHIMA MINAMI LIONS CUP キリンチャレンジ(U-12)フットサル大会
フットサル大会を通じて青少年の健全育成を目標とし、メインチーム「NOIZIME(いじめ)」を掲げています。2014年11月2日(日)に15チームの参加で開催しました。



今年度優勝チーム FC佐古

庭木剪定を通じ、生徒との会話

8 R I Z

阿波勝浦ライオンズクラブ

青少年育成事業に最大の力を傾注し、多々ある事業の中、町内各学校庭木の手入れをクラブ結成以来36年間、庭木剪定、此れからも継続事業とし生徒と汗を流す喜びを味わってもらいたい。

特に近年生徒達からお礼の手紙がクラブ宛て来るようになりました。

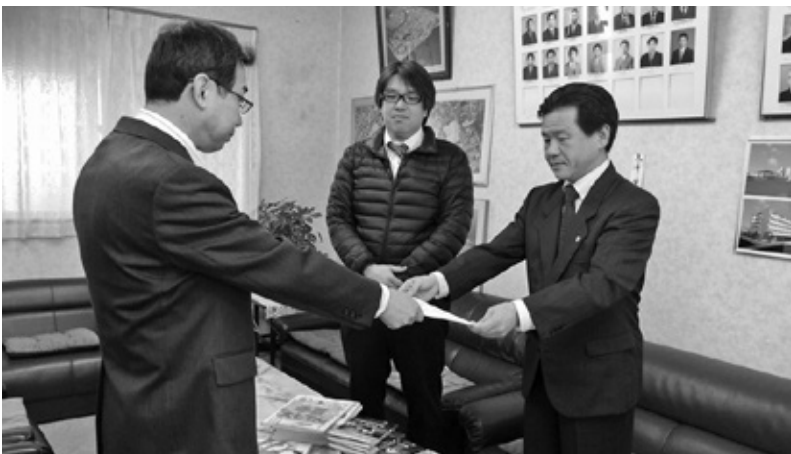


マリンピア文庫として本を寄贈

8 R I Z

徳島マリンピアライオンズクラブ

情報源がネットへ移行し十数年経った現在、改めて読書の必要性が重要視されており、継続アクトとして毎年、当クラブ地元の沖洲小学校に、マリンピア文庫として生徒達に必要な本を寄贈致しております。



児童擁護施設に
ノートパソコンを寄贈

8 R I Z

徳島すだちライオンズクラブ

2月に児童擁護施設にノートパソコンを贈りました。青少年育成は当クラブ活動の柱であり、ノートパソコンは学業等に使用されます。事業資金は阿波踊り期間中に休憩所を設け、その売り上げを購入資金に充てました。





あらせわ連と阿波踊りを エンジョイ

8 R-2 Z

徳島中央ライオンズクラブ

県内在住の外国人が1年に1度だけ阿波踊りを楽しむための連、それがあらせわ連。当クラブの会員が実行委員長を務めており、昨年、高張提灯を寄贈。今年もあらせわ連の出陣式に参加し交流を深めた。



「こども俳句支援」

8 R-2 Z

徳島城山ライオンズクラブ

青少年健全育成事業の一環として「こども俳句支援事業」を情操教育支援のため、こども俳句表彰を年一回行っています。本年度も2月第二例会で賞状の授与を行い同時に戸井一洲氏（ひまわり俳句会副主宰）より俳句についての講話をお願いし会員も俳句の勉強をしています。



町内四小学校の生徒への おもちゃ作り指導

8 R-2 Z

上板ライオンズクラブ

当クラブでは、町内四小学校の生徒を対象に長年おもちゃ作りの指導をしています。紙玉鉄砲・竹下駄・糸ブンブン・折り紙等です。小刀や竹引き鋸を使って材料を細工したり折り紙で紙飛行機や箱を折っています。手先を働かして細かい物を作る作業を通じて、指先の器用さを高めたり、工夫する事を体感してもらっています。



第27回ライオンズ 国際平和ポスターコンテスト

8 R-2 Z

徳島吉野川ライオンズクラブ

富田小、昭和小、富田中学校にお願いし、多数の応募の中でもポスターかと思うほど丁寧な描かれた、富田中学校の住友丹さんがクラブと336-A地区の優秀賞に選ばれた。3月5日「3・11を忘れない」例会に、住友さん・お母様・担当の坂本先生にご出席いただき、自衛隊隊長のご講演前に表彰式が執り行われた。中野眞裕会長から賞状と記念品を、山口裕史ZCより地区の賞状を授与された。後日、全校生徒の前で校長から表彰を受けられた。



道の駅土成周辺の

清掃等環境管理活動

8 R-2 Z

土成ライオンズクラブ

土成LCの重要なアクティビティの一つに、国道318号道の駅土成周辺の清掃等環境管理活動があり発足以来18年間続いています。ここは宮川内県立自然公園の中に位置しダム湖があり、春は桜、秋は紅葉と、四季折々の季節感を満喫しながらの作業で、除草や落葉等の清掃作業をはじめ、会員が植えた約300本のアジサイの管理や周辺の樹木の剪定など、各々体力に応じた内容の作業を毎月第一例会の早朝に約一時間余り汗を流しています。作業の後は

会場で朝食をし例会をしています。毎年の繰り返しですが、地域の根差し会員の健康管理や親睦の場で大いに役立っている楽しいアクティビティです。



小・中学生剣道大会

9 R-1 Z

徳島眉山ライオンズクラブ

平成26年8月10日、小・中学生剣道大会が開催されました。

台風11号の徳島直撃により当日朝まで開催するかどうかの判断が難しく苦慮しましたが、無事故もなく開催できました。

今回で44回目の大会となり、我がクラブの伝統的なアクティビティとなっています。



牛島和彦の野球教室開催

9 R-1 Z

鳴門ライオンズクラブ

平成27年1月17日牛島和彦の野球論「選手を伸ばす指導者へ牛島和彦と話す」を開催いたしました。徳島県内の小・中学生の野球指導者に参加していただき、プロ野球横浜ベイスターズの監督にも就かれた牛島和彦氏を迎え、その経験から現在子どもたちの野球を教えている指導者と一緒に子供たちに合った指導とは何かを考えようという企画しました。



”国際平和ポスター”

9 R-1 Z

藍住ライオンズクラブ

町内の小学校4校・中学校2校から合計164枚の作品が集まりました。毎年多くの応募があり今年は藍住西小学校からは100枚の応募がありました。選考した最優秀賞・優秀賞の作品を町役場に展示しました。





お遍路さんのお接待

9 R I Z

板野ライオンズクラブ

私たちの板野町には四国霊場八十八ヶ所の内三番金泉寺、四番大日寺、五番地藏寺と三ヶ寺の札所寺があります。クラブ結成当時より毎年春と秋三ヶ寺で順次お遍路さんのお接待を続けております。

今春には日本遺産に登録され今後世界遺産に登録されることを願っています。



「松茂徳島空港ライオンズクラブ杯 争奪小学生バレーボール大会」

9 R I Z

松茂徳島空港ライオンズクラブ

毎年、9月二週目の日曜日に「松茂徳島空港ライオンズクラブ杯争奪小学生バレーボール大会」を開催しております。今年度で29回目となり、青少年の健全育成と、相互の交流と親睦をはかり、楽しい社会づくりに寄与することを目的としています。



ウォークロード清掃

9 R I Z

鳴門西ライオンズクラブ

さる10月16日、恒例の板東谷川堤防（ウォークロード）の除草作業を行いました。

日頃は住民や犬の散歩道でもあり、今年も除草作業をすることによりきれいな散歩道に生まれ変わりました。参加者全員気持ちのいい汗をかきました。



「チャリティファンラン」

9 R I Z

北島ライオンズクラブ

北島LCは25周年記念事業として「チャリティファンラン」を実施致しました。チャリティと楽しく自由に走ることを目的とし350名の参加を頂き募金総額は330,746円となりました。この寄付金で車椅子を18台購入し徳島県へ寄贈致しました。参加者から大変喜ばれ、来年度も開催予定となっております。



県の天然記念物 黒沢湿原

9 R・2 N

阿波池田ライオンズクラブ

（三好市池田町漆川）県の天然記念物に指定されている黒沢湿原に自生していたさぎ草は三好市の花で絶滅が危惧されている。16年前から川崎小学校と三縄小学校で2月に球根を植え付け、6月にその苗を黒沢湿原に移植する活動の手伝いを続けている。植え付け終了後は、児童と一緒にバーベキューやゲームを楽しみ、一日が終わる。



献血支援活動

9 R・2 N

脇ライオンズクラブ

マルナカ脇町店のご協力を頂いて、今年度4回目の献血支援活動をクラブ10人で3・5時間実施しました。献血支援者は42人。来店者数も多く、近頃では多数の献血協力者がありました。献血支援は最近減少傾向にあるので、本活動をこれからも充実させながら、継続していきたいと思っています。



商工会青年部との献血事業

9 R・2 N

三加茂ライオンズクラブ

当クラブは継続事業として商工会青年部と協力し、年3回献血での粗品の配布を行っている。平成11年より始め、平成24年度には厚生労働大臣より感謝状をいただいている。



臓器移植推進普及キャンペーン

9 R・3 N

徳島西ライオンズクラブ

毎年10月ライオンズ奉仕デーに臓器移植推進キャンペーンを実施、徳島駅前から東新町商店街、約1・5kmを意思表示カード、記念品10,000枚を配布し、また11月連休の3日間「阿波のたぬきまつり」会場にて意思表示カード10,000枚を配布しております。





筋力アップを目指して 「阿波踊り体操」

9 R-3 Z

鴨島ライオンズクラブ

私たち鴨島ライオンズクラブでは、健康増進、筋力アップを目指して、例会において「阿波踊り体操」を取り入れています。

会員の年齢に合わせて基本編・シニア編と、パターンを変えながら実施。動きを覚えるのに少し時間がかかりますが、会員の体力向上につなげられればと継続しようと思っています。



保育所へのプレゼント！

9 R-3 Z

阿波ライオンズクラブ

クラブ結成当初(1972年12月)より毎年継続しているアクティビティがあります。

会員がサンタクロースになって地元の保育所へクリスマスプレゼントを子どもたちに配ります。大変喜ばれています。



アドプトアハイウェイ (道路清掃)の実施

9 R-3 Z

神山ライオンズクラブ

1998年(平成10年)6月28日、全国初・神山発信のアドプトアハイウェイ(道路清掃)を実施して以来、神山ライオンズクラブ受持地域約2キロの清掃(原則、隔月実施)を行っています。



「徳島市青少年 健全育成綱引き大会」

9 R-3 Z

徳島藍ライオンズクラブ

徳島藍ライオンズクラブが青少年育成事業の1つとして、毎年関わってきた「徳島市青少年健全育成綱引き大会」への参加も15年を迎えました。子供たちとの交流を大切に、会場が1つになる感動を実感でき、私たちクラブ員全員が楽しみにしている事業です。まさに、継続こそが今後の活動にも力となると思います。



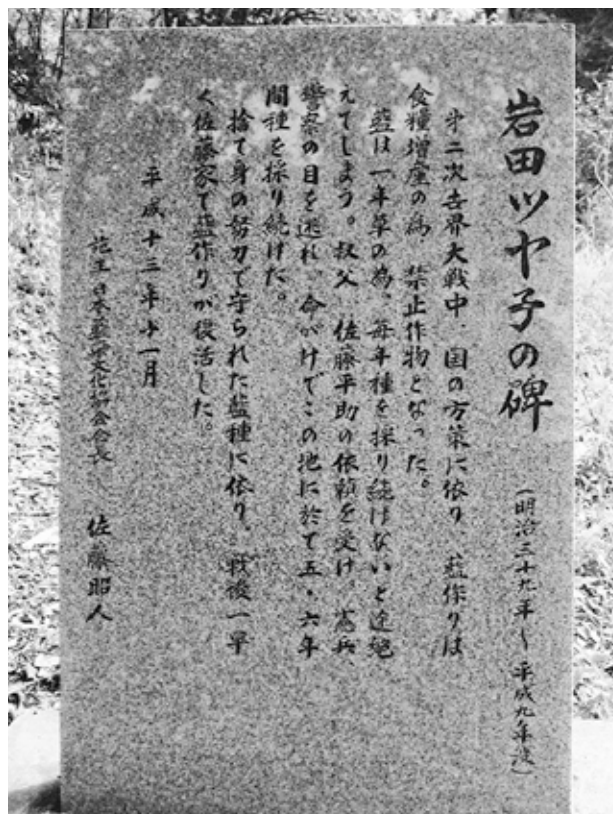
“阿波藍の今昔”

地区キャビネット幹事

岩佐 典秀

第61回年次大会の記念品に「天然灰汁発酵建」の技術で加工した藍染のハンカチを二千人余りの登録者にお渡しさせて頂きました。阿波には「阿波踊り」、「人形浄瑠璃」そして「阿波藍」の三大文化が有名です。中でも藍づくりは阿波の特産として吉野川氾濫で肥よくな川底の砂を利用して栽培されたと云われています。1740年頃、つまり江戸時

代の中頃には吉野川の流域7郡へ広がったと云われます。しかし、明治20年頃にドイツより化学染料の輸入により藍作りは減少の一途を辿りました。そして、第二次世界大戦中の5、6年は国策により田畑は食糧増産に使用するために「藍」は禁止作物となりました。憲兵や警察に発覚すれば家族や親族まで危害が及んだと云われます。藍は一年草の為、毎年「種」を収穫しないと途絶えることから叔父佐藤平助の依頼を受けて秘かに栽培をし続けた人がいました。岩田ツヤ子（板野町出身）さんという



方です。その信念の「藍」（白花粉藍）の葉を乾燥させた「すくも法」による「天然灰汁発酵建」の技術で染められた藍染の方法はごく僅かです。徳島県内の藍作りは16町歩で、その半分の8町歩を佐藤昭人氏が収穫しています。生産された藍の葉を小さくきざんで「室」に寝かした後に水を打って発酵させ、「すくも」になったものを袋につめて全国2000軒余りに発送



されています。そして、各地で染め上げられた藍染は価値あるものと高く評価をされています。この度、木内ガバナール出身の板野町の地で命がけで守られた貴重な「白花粉藍」で染め上げた藍染のハンカチを記念品と致しました。



国指定有形文化財

旧金比羅大芝居 (通称 金丸座)

旧金比羅大芝居は、天保6年（1835）に建てられた、現存する日本最古の芝居小屋です。江戸時代中頃から金比羅信仰が全国的に高まり、年3回（3・6・10月）の「市立ち」の度に仮設小屋で歌舞伎などの興行を行っていました。

しかし、だんだん門前町の形態が整ってくるにつれて常小屋の必要性和、また一方その設置を望む多数の庶民の声を反映し、高松藩寺社方より許可を契機に、当時、大阪三座の一つ大西芝居（後の浪花座）を模し、富籤（現在の宝くじのようなもの）の開札場を兼ねた定小屋として建てられました。

小屋の名称は所有者が変わるたびに変更し、明治33年に「金丸座」と改名した後は現在でもこの愛称で親しまれています。

昭和45年に「旧金比羅大芝居」として国の重要文化財に指定され、昭和47年から4年間の歳月をかけて現在の場所に移築復原しました。（元の場所は、現在の琴平町立歴史民俗資料館が建っているところですよ）

昭和60年から「四国こんぴら歌舞伎大芝居」が開催され、四国路に春を告げる風物詩となっています。

平成15年度に復原及び耐震構造補強工事（平成の大改修）が行われ、併せて調査中に発見した痕跡を検証し、これらの判明した「ブドウ棚」と「かけすじ」を復原し、より江戸時代的情緒あふれる姿に再現することができました。

1 花道

舞台下手より直角に客席を貫き、鳥屋に通じている。（幅約1.3m、長さ約14m）

2 すっぽん

花道の七三の位置にある切穴のこと。「スライド」式で、忍術使いや妖怪のたぐいがこの穴からせり上がる。

3 かけすじ

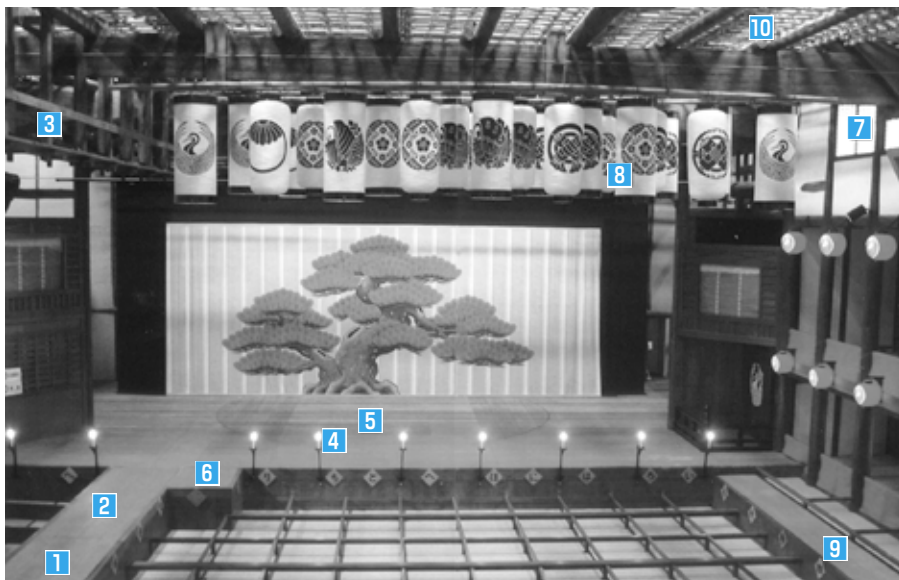
役者などが宙乗りするための装置。（幅約65cm、長さ約17m）

4 廻り舞台

舞台中央にある直径4間（7.3m）の円形に刳り抜き、回転させることのできる舞台。

5 セリ

廻り舞台にあり、「スライド」式に奈落と舞台を上下できるようになっている



独特の勘亭流の文字で記した庵看板を書き上げるこんぴらLCの山田幸夫さん



11 奈落

舞台や花道の床下の総称で、地獄の奈落を連想して、名付けられた。廻り舞台やセリ・すっぽんの仕掛けを動かすための場所で、今でも全て人力で動かしている。

6 空井戸

舞台と花道の付け根に構えた半間四方の空枠。舞台下の奈落に通じており、ここから出入りしたり、早替わりなどに用いられる。

7 明り窓

開閉することで場内の明るさを調整する。

8 顔見せ提灯

興行の際、役者の番付の代わりにしている。（高さ約1.2m、幅約45cm）

9 仮花道

舞台上手より、直角に客席を貫いている。（幅約0.8m、長さ約14m）

10 ブドウ棚

竹で編んだ格子状の天井。花吹雪も散らすことができる。約500本の竹を使用。

336-A地区会員現況

(入退会は累計・2014年7月度～2015年5月度)

R	Z	クラブ名	期 首	5月末	増 減
1	1	松山ホスト	36	33	-3
		久 万	26	23	-3
		松 山 東	48	52	4
		砥 部	50	50	0
		松山つばき	54	55	1
		松山城山	43	42	-1
	2	松山道後	55	58	3
		伊 予	50	48	-2
		松 山 西	70	75	5
		松 前	21	21	0
		松 山 北	29	41	12
		松山湯築	63	66	3
	3	松山城東	23	25	2
		北 条	18	19	1
		松山中央	110	113	3
		松 山 南	37	40	3
		東 温	31	30	-1
		松山金亀	41	49	8
		松山白鷺	64	69	5
	リジョン小計		869	909	40
2	1	新 居 浜	53	54	1
		新居浜中央	37	34	-3
		新居浜別子	36	36	0
		新居浜ひうち	26	31	5
	2	今 治	68	71	3
		今治中央	60	59	-1
		今 治 東	56	58	2
		今治くるしま	48	48	0
	3	伊予三島	35	37	2
		川 之 江	47	63	16
		伊予土居	74	72	-2
		四国中央法皇	37	40	3
	4	川之江中央	27	28	1
		西 条	66	66	0
		東 予	33	33	0
		伊予小松	12	12	0
		西条石鎚	65	68	3
	リジョン小計		780	810	30
3	1	大 洲	45	46	1
		宇 和	42	46	4
		伊予長浜	12	13	1
		内 子	52	50	-2
		野 村	23	21	-2
	2	八 幡 浜	41	41	0
		三 瓶	18	17	-1
		伊 方	38	40	2
		保 内	39	38	-1
		八幡浜みなと	40	41	1
	3	宇 和 島	30	30	0
		伊予吉田	32	31	-1
		宇和島中央	16	11	-5
		南 宇 和	42	43	1
		鬼 北	36	35	-1
	リジョン小計		506	503	-3

R	Z	クラブ名	期 首	5月末	増 減
4	1	高 松	38	41	3
		小 豆 島	42	44	2
		小豆島東	31	32	1
		高松葵	26	25	-1
		高松南	25	19	-6
		高松東	59	38	-21
	2	高松西	40	36	-4
		直 島	28	28	0
		八 栗	48	48	0
		高松源平	34	38	4
		高松中央	53	48	-5
	3	東かがわ	81	71	-10
		長 尾	66	82	16
		志 度	87	82	-5
		三木さぬき	28	50	22
		高松グリーン	21	20	-1
	4	高松玉藻	55	53	-2
		高松栗林	101	99	-2
		高松屋島	68	74	6
		高松紫雲	71	71	0
		高松空港	39	44	5
		高 松 北	35	36	1
	リジョン小計		1,076	1,079	3
5	1	丸 亀	106	113	7
		坂 出	56	59	3
		坂出白峰	117	113	-4
		綾 歌 郡	22	21	-1
		丸亀京極	72	74	2
		う た づ	51	52	1
	2	坂出シニア	55	56	1
		観 音 寺	52	43	-9
		善 通 寺	45	43	-2
		多 度 津	62	63	1
		三 豊	49	51	2
		こんびら	71	67	-4
	3	観音寺中央	41	41	0
		リジョン小計	799	796	-3
6	1	高 知	52	52	0
		高知柏	60	57	-3
		高知東	52	74	22
		高知北	49	48	-1
		高知桜	58	57	-1
		高知とさみずき	15	16	1
	2	須 崎	37	38	1
		土 佐	48	50	2
		伊 野	25	26	1
		佐川越知	27	28	1
		中 土 佐	29	28	-1
	3	四 万 十	49	50	1
		土佐清水	50	50	0
		宿 毛	23	22	-1
		窪 川	15	17	2
		大 方	31	29	-2
		大 正	19	20	1
	リジョン小計		639	662	23

R	Z	クラブ名	期 首	5月末	増 減
7	1	高知 鷹 城	53	53	0
		室 戸	28	31	3
		高知 鏡 川	38	40	2
		高 知 南	33	36	3
		高知よさこい	46	47	1
		土佐国府	23	22	-1
	2	高知黒潮	56	58	2
		高 知 桂	54	52	-2
		高知中央	35	50	15
		高知安芸	32	33	1
		高知りょうま	47	46	-1
	3	土佐山田	15	14	-1
		土佐本山	18	25	7
		南 国	27	27	0
		土佐香南	29	29	0
	大 豊	6	5	-1	
	リジョン小計		540	568	28
8	1	徳 島	19	22	3
		小 松 島	21	22	1
		阿 南	48	47	-1
		徳 島 南	24	24	0
		阿波勝浦	26	23	-3
		徳島マリンド	86	80	-6
		徳島すだち	73	84	11
		徳島シニア	15	13	-2
	2	徳島中央	29	30	1
		石 井	67	62	-5
		徳島城山	49	52	3
		上 板	35	37	2
		徳島吉野川	34	36	2
		土 成	31	31	0
		徳島やまもも	23	24	1
		リジョン小計	580	587	7
9	1	徳島眉山	29	28	-1
		鳴 門	43	53	10
		藍 住	37	37	0
		板 野	53	67	14
		松茂徳島空港	21	20	-1
		鳴 門 西	27	31	4
		北 島	47	50	3
	2	阿波池田	35	32	-3
		脇	41	38	-3
		三 加 茂	19	18	-1
	3	徳 島 西	13	20	7
		鳴 島	27	25	-2
		阿 波	26	25	-1
		神 山	18	19	1
徳 島 藍	36	34	-2		
リジョン小計		472	497	25	
地区合計			6,261	6,411	150



物故会員

謹んでお悔やみ申し上げます



①木内 善三郎 95歳
②9R-1Z 徳島眉山LC
③昭和36年 3月
④平成27年 2月24日



①程内 哲雄 66歳
②3R-3Z 鬼北LC
③平成14年 4月
④平成27年 2月13日



①白井 貞男 92歳
②4R-3Z 長尾LC
③昭和39年 4月
④平成27年 2月 1日



①清水 信行 77歳
②1R-3Z 松山中央LC
③昭和53年10月
④平成27年 1月28日



①大西 満 83歳
②8R-1Z 徳島マリニピアLC
③昭和38年 4月
④平成27年 3月 9日



①千葉 重信 86歳
②4R-1Z 高松南LC
③昭和49年10月
④平成27年 3月 6日



①森 繁之 59歳
②8R-1Z 阿南LC
③平成18年 7月
④平成27年 3月 3日



①奥島 団四郎 92歳
②1R-2Z 松山道後LC
③昭和35年10月
④平成27年 2月27日



①菊野 善之助 93歳
②1R-1Z 松山ホストLC
③昭和36年 7月
④平成27年 4月17日



①佐々木 秀夫 90歳
②2R-4Z 西条LC
③昭和47年 3月
④平成27年 4月15日



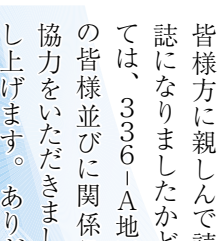
①賀川 育代 57歳
②9R-1Z 藍住LC
③平成26年 7月
④平成27年 4月 7日



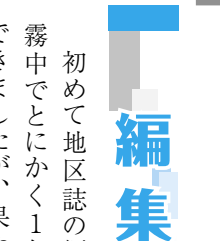
①藤谷 直明 68歳
②4R-1Z 高松南LC
③平成 2年 2月
④平成27年 3月30日



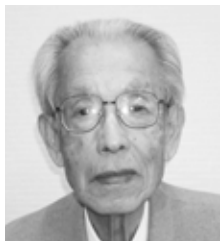
①宮崎 益男 80歳
②2R-3Z 伊予三島LC
③昭和38年10月
④平成27年 3月13日



①川添 宏 90歳
②7R-2Z 高知桂LC
③昭和55年 2月
④平成27年 5月10日



①久保田 晃 76歳
②3R-3Z 宇和島LC
③昭和52年 1月
④平成27年 5月 5日



①原北 健男 93歳
②5R-1Z 坂出白峰LC
③昭和45年11月
④平成27年 4月22日



①川添 宏 90歳
②7R-2Z 高知桂LC
③昭和55年 2月
④平成27年 5月10日



①久保田 晃 76歳
②3R-3Z 宇和島LC
③昭和52年 1月
④平成27年 5月 5日



①原北 健男 93歳
②5R-1Z 坂出白峰LC
③昭和45年11月
④平成27年 4月22日

①氏名・享年 ②LC名 ③入会年月日 ④没年月日

編集後記

初めて地区誌の編集に携わり、五里霧中とにかく1年間真摯に取り組んできましたが、果たして各クラブ会員の皆様方に親しんで読んでいただける地区誌になりましたかどうか。発行に当たっては、336-A地区149クラブの会員の皆様並びに関係役員各位に多大なご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(T・A)



[第62回] 336-A地区 年次大会のご案内

大会スローガン

黒潮の 熱き心で ウィサーブ

と き ● 2016年
4月16日(土)・17日(日)

ところ ● 高知県立県民文化ホール
三翠園 (高知市)



第62回地区年次大会は「黒潮踊る情熱の街・高知市」で開催します。太平洋に向けて大きく翼を広げ、自然の恵みあふれる黒潮の壮大な流れを受け取る南国土佐。「感謝」の熱い思いを込め、「感動」「感激」に満ちあふれる年次大会を創り上げます。情熱あふれる橋本ガバナーエレクトを支え、6R7R高知県下全クラブ一丸となって、黒潮のような熱い心でお迎えします。

みなさん
四国の皆様は大きなひとつの家族やき。来年高知で待ちゆうきね!



次期ガバナーズローガン

「感謝」「感動」「感激」の気持ち、心でWe Serve



次期 高知キャビネット事務局

〒780-0862
高知県高知市鷹匠町1-3-35 三翠園13F
TEL 088-823-5552 FAX 088-823-5518
E-mail kochicab@bird.ocn.ne.jp

2014~2015年
ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 徳島キャビネット



We Serve

〒779-0105 徳島県板野郡板野町大寺字王子111-2
TEL (088)637-5011
FAX (088)637-5012
E-mail: lc336a-tokusima@iaa.itkeeper.ne.jp